

第3回気高地域学校統合準備委員会の議事概要

1 日 時 令和7年5月21日（火） 18:30～20:00

2 会 場 気高町総合支所

3 出席者 【委員】25名、オブザーバー2名（欠席3名）

【気高町総合支所】職員4名

【教育委員会事務局】職員7名

4 議 事

（1）鳥取市気高地域新設統合小学校整備基本構想・基本計画について

《概要》 質疑、意見…○、事務局回答…●

●事務局資料説明

○浜村地区委員：浜村自治連として5/1～12で浜村地域の要望・意見をまとめてきた。教育環境の充実、地域一体型の特色ある地域づくり、防災・減災対策の充実、その他といった項目でまとめている。（資料について説明）

○前回、災害時は垂直避難になると聞いたが、どこかに記載はあるか。別の計画にあるならばそのことをどこかに書いてあれば分かりやすいと思う。

●基本構想・基本計画への記載は検討させていただく。なお、鳥取市が定めている地域防災計画の中で示しているため、学校ごとではなく全市的に同じ考え方である。

○学校の工事と消防署、河川工事があると聞いているが日程が重なるのか。安全確保はどのようにされるのか。

●こちらの現時点の認識では工事期間はあまり重ならないのではと考えているが、改めて確認する。仮に重なるようなことがあれば安全を確保するように進めていく。また、工事についてご指摘等があればその都度対応させていただきたい。

○図書室が対応困難となっているが、地域利用は難しいとしても、児童のバス待ちに利用できるような配置はぜひ検討していただきたい。学習スペース等も設置して宿題や読書をして安全に有意義に過ごせることが大事だと考えている。準備室もお願いしたい。

●標準的な図書室の形等も研究しながら学習スペースや準備室等のことも含めて確認したい。場所については児童にとって利用しやすい配置という視点も持って検討していきたい。

○道路の拡幅はどの部分になるか。

●細かい部分はこれからという所はあるが、予定地西側の道路から南側に延びる道路。計画が進んだ段階で示していきたい。

○線路北側は道路幅が狭い部分があるし、踏切を渡る子どもたちもいると思う。例えば送迎の車を停めて、そこから踏切を渡らせるようなことをすれば狭い道路が緩和されるのではないかと思う。

○前回の会議で例えば踏切ではなくアンダーパスを検討できないかということ話をした。資料にはハードではなくソフトで対応すると書いてあるがどういうことか。歩道橋を渡ってくると遠回りになる子もあり、多くの児童が北側の踏切を通ることになると思う。近くにトンネルもあるし常時人を立たせるのか。行きは良くて帰りは大変だと思う。JRとの協議等も本気で考えていただきたい。

●ソフト面については、地域の皆さんのお知恵をいただきながら検討していきたい。また、学校にも協力いただき、子どもたちに安全な通学方法を伝えていくことも必要だと考えている。踏切の整備等につい

ては改めて担当部局も交えながら検討していきたい。

○宝木小も踏切が近くにあり、長年歩道がなかったが、長年の要望活動で設置された経緯がある。車と子どもが混在するのは好ましくないので、今からでも要望活動していても良いのかもしれない。

○保険会社の調査では宝木小横の踏切は鳥取でも有数の急ブレーキスポットらしい。学校が近くで踏切があるようなポイントは相当な事故可能性が高いと思う。例えば、末恒小学校も線路を渡って通学していて、結構地元のボランティアの方が立っておられるようである。統合後も地元の方に委ねられることはできるのか検討するなど、しっかりした安全対策をお願いしたい。

○浜村のコミュニティセンターや地区公民館は古くなっているが今回は基本的には連携しないという考えだと理解した。学校建設をスピード感を持って進めるならこれらは省かれるのかもしれないが、地域との連携というのは今後の高齢化とか少子化が進んでいく中では重要なことだと思う。小学校や保育園と公民館が隣接や同じ建物内にあるという事例もあるが、そういった地域との繋がり方については検討材料にさせていただけるのか。

●現在は学校建設について議論しているためはっきりと回答はできないが、将来的に移転の際には地域から要望をいただきながら対応していくということもあるかもしれない。

○浜村からの要望にもあるが、小学校は避難所になるため、防災倉庫や非常電源、ZEB化の推進等、いろいろ考慮して防災機能をお願いしたい。もう一点、公共施設の建設は木造を促進するものと聞いているので、できないならその理由を示していただきたい。資料には地球温暖化や子どもたちの学習環境、湿度、断熱等のメリットが書いてあるので、これらの点も考慮して木造や鉄筋コンクリート造等を比較して議論しなければならないと思う。シロアリや地震、火事等の懸念点もクリアしているはずである。あと、県内に集成材工場はないが、プレカットが東部でできたり、木造だと使える補助制度があったり、木造校舎だと軽量化も図れ、地盤への影響や杭も短く済むなどメリットもいろいろとあるので、トータルで加味しながら検討をお願いしたい。

●防災倉庫、発電機については、ご意見があったということで持ち帰らせていただく。木造建築についてのご意見も踏まえながら、コスト等も含めて総合的に設計の中で検討していきたい。木造についてのメリット・デメリットについては、情報をいただきながら検討の参考にさせていただく。

○現在の小学校は耐震だと思うが、統合後に残った学校の活用はどのようになる予定か。

●鳥取市では、施設を全て管理できるところをお願いするというような方針を定めている。今後そのような計画に基づきながら検討させていただきたい。

○廃校後の学校の活用については各地域の検討課題だと思う。様々なケースがあると思うし、地域振興未来会議等でも議論する場はあると思う。

○放課後児童クラブは既に検討に入っているのか。また、逢坂小の先行編入の時期は。

●調整はしているが実際の動きはこれからになる。逢坂小編入は令和8年4月を基本的な方針とするように調整を進めている。

○基本構想・基本計画の14ページに配置図があるが、敷地全体をフェンス等で囲むということで良かったか。

●すべてフェンスで囲むわけではないが、安全性確保等の視点から必要な部分に設置していくことになる。どのように設置するのかはまだお示しできる段階ではないので、設計が進んだ段階でご確認いただく。

5 その他

(1) 土地取得や現地作業の状況について 事務局説明

(2) 委員からの意見

《概要》 質疑、意見…○ 、 事務局回答…●

●事務局説明

○現段階で、質問等の窓口は支所で良いか。近隣住民の方から現状を聞かれることがある。

●支所に相談いただければ、必要に応じて担当課に報告させていただく。

《次回予定》

- ・ 6月中旬を予定。日程や場所等については、教育委員会が調整のうえ決定させていただく。